

第 5 回生活・利用に関する検討部会の報告

1. 開催日・場所：平成 21 年 3 月 23 日（月） 大濱信泉記念館
2. 参加者：委員 18 名（個人 2 名、団体・法人 7 名、地方公共団体 6 名、国 3 名）
3. 実施内容

（1）活動の報告

- ・ 前回（平成 20 年 10 月 15 日）以降の活動を報告
- ・ “石西しょうこちゃん”の下敷きを作成。石西礁湖自然再生協議会メンバーを中心に約 500 部を配布。
- ・ 環境省より報告。「“石西しょうこちゃん”の下敷きを 100 枚程度子供中心に配布したところ好評であった。観光客やダイバーへもこれからどんどん配布したい。」とのこと。事務局より余部を追加配布。
- ・ 残部が少ないため、今後は現場で利用した後回収する事を想定。

（2）海上交通の安全・安心の確保について

- ・ 竹富町・沖縄総合事務局石垣港湾事務所より、海上交通の安全・安心の確保についての検討状況が報告された。
- ・ 竹富町から、町としての海上交通の考え方として、以下を目指す事が報告された。
 - ①島での安全・安心な生活の確保
運航時間の延長や海上交通の質の向上、島間交通の拡充を行いつつ、生活保全航路を確保する。
 - ②自然環境の保全
自然とくらしの共生を目指し、航路整備は必要最小限の整備に止める。
- ・ 石垣港湾事務所から、今までの地形調査・環境調査の結果と、大まかな航行箇所を検討結果、海上交通の安全・安心の確保と環境保全の考え方が報告された。

以上



◎昼間しか航行できない
浅瀬が多く、避けながら航行する必要があるため、昼間だけの運航。

定期便の運行時間帯（冬期）
●小浜航路 07:20 ~ 18:10
●大原航路 07:10 ~ 17:20
昼間のみの運航となっている。

- 夜間の急病人の搬送をヘリに頼っている
- 通勤、通学ができない、夕方に石垣で会合を開催できない
- 離島と空港とのアクセスに制限
 - ・離島から石垣発の始発便に間に合わない
 - ・石垣着の最終便では離島に渡れない



特に小浜航路では、浅瀬が多いため、喫水が浅い特殊な船型のフェリーを使わなければならない。

それでも、大潮の干潮時には航行できない

日用品、食料、資材等の安定供給に支障が出やすい

凡例

- 現況航路
- 船舶航行に危険性のある箇所